

中小製造現場で実践する 儲かる現場の品質管理 10のポイント

〈品質不正を未然に防ぐ仕組みづくり〉

(株)工場経営研究所 代表取締役

伊藤 哉 Hajime Ito

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-28-4
TEL:(03)5860-4179 E-Mail:itoh@koujoukeiei.jp
URL:http://www.koujoukeiei.jp

最終回

品質不正の未然防止

point 10

“ 儲かる現場は 人を育てて不正を防ぐ ”

2017年から2018年にかけて、自動車メーカーや素材メーカーで品質不正が次々と発覚した。無資格者による検査や製品データの改ざんだ。なぜ、品質不正が頻発したのか？ 人に仕事がついていたからではないか。担当者が1人で悩む状況が放置され、仕組みになっていなかったのだ。本連載では品質不正を未然に防ぐ観点から品質管理のポイントを説明してきた。少数精鋭の中小製造現場だからこそ「仕組み」で対応した。ただし、「仕組み」さえつくればいいのか？ 最終回となる今回は全体のまとめとして「品質不正の未然防止」を取り上げる。

▶ 儲かる現場の品質管理の考え方

生産管理の3つの要素「QCD」で優先すべきはQ（品質）である。品質はコストや納期の前提条件だ。ということを手で理解しているものの、いざ品質か？ 納期か？ という選択を迫られる局面で、厳しい判断ができるだろうか。そうした局面でもブレない判断ができるよう、経営者や管理者は強い心をもつことが大切である。その一方で、そもそもそうした事態を起こさない仕組みづくりも心がけたい。儲かる現場の考え方

儲かる現場は
人を育てて不正を防ぐ

儲からない現場は
誘惑に負けて不正を起こす

を今一度確認してほしい。

〈連載各回のテーマとポイント〉

第1回 自主検査

儲かる現場は自分がやらねばと考える。

儲からない現場は誰かがやってくれると考える。